

書あり 師あり 友ありて



～ 昨年度の自分たちをはるかに超えた合唱に ～ = 素晴らしい学級・学年合唱をありがとう =

学校長 平田 高之

昨日、新型コロナウイルス感染対応のために、本校体育館で学年発表会形式となりましたが、文化発表会を開催しました。小学校や幼稚園では、器楽合奏に取り組んでおられますが、中学校では合唱の取組が中心となりますので、この新型コロナウイルス感染症対応の中での取組は厳しいものがありました。

授業時数確保の観点からも、7時間目、総合的な学習の時間、HR等を活用し、教科授業時数のカットを極力なくしての取組に加え、マスクをして3密を避けての練習です、音楽科、文化発表会実行委員会の教員を中心に、工夫しながら進めました。

学級合唱をマスクなしで行うために、生徒間の距離をかなり離れたために、生徒たちは歌いにくかったと思いますが、友達を信頼して、曲想や歌詞を理解し、強弱や速度の変化等を意識した素晴らしい合唱をしてくれました。また、学年合唱はステージ前の合唱台だけでなくフロアに広がる形で、しかもマスクをしたままでの合唱となりましたが、逆に、お互いの顔を見て声を聞きながらとなり、2・3年生は昨年度の自分たちのレベルをはるかに超える素晴らしい仕上がりで、体育館に美しいハーモニーを響かせてくれました。1年生は、中学生になって初めての文化発表会で緊張感もあったかと思いますが、各パートのバランスをしっかりとった中学生らしい合唱になっていたと思います。

今回は学年発表会形式となりましたので、他学年に、特に2・3年生の上級生の合唱を、是非1・2年生に聞いてもらいたいと思っています。お昼の放送や、以前お知らせしました「ホームページ」でパスワードがかかる「大蔵中生へのエール」に映像をアップできないか検討中です。

「学校だより第73号」で文化発表会への思いを紹介しました文化委員長の□□□□が、3年生の学年発表会で、素晴らしいおわりの挨拶をしてくれましたので紹介したいと思います。

文化発表会お疲れさまでした。ここから皆さんの表情を見ると、やりきったという顔をしていて、成長したんだなあと感じています。

私は、最初に、校長先生から今年も文化発表会ができると聞いて、すごく嬉しくて頑張ろうと思う反面、大きな不安もありました。今年は、ソーシャルディスタンス合唱で、いつもすぐそばで友達が歌っていても声を出すのは緊張するのに、ソーシャルディスタンスだと余計に歌いづらくなるんじゃないかと思っていました。でも、今日歌ってみてどうでしたか。どのクラスも、しっかり声が出て、お互いを信頼する気持ちが歌に表れていて、素晴らしかったです。こんな合唱を創れる74回生は、きっとたくさんの方を文化発表会で身につけ得た力があつたのではないのでしょうか。

いろいろな行事が新型コロナウイルス感染症の影響で縮小されている中、私たちはコロナだから縮小された文化発表会ではなく、コロナだからこそ必死に頑張つて忘れられない文化発表会ができたのではないのでしょうか！この文化発表会で築いた信頼を活かし、仲間と一緒に行事・勉強・学校生活を頑張っていきましょう。

新型コロナウイルス感染症の影響で、中学校生活だけでなく、普段の生活でもさまざまな制限がある中、これをデメリットに終わらせるのではなく、発想を転換してプラスに変えることができる強さを身につけてくれたんだと本当に嬉しく思いました。改めて、中学生の潜在能力のすごさを実感しました。

74回生は、11月に進路に影響する「実力テスト」「期末テスト」、12月2・3日には中学校生活最後の行事となる「修学旅行」がありますが、きっと乗り越えてくれると信じています。

75回生は、11月10日に1日だけの「トライやる・ウィーク」、12月4日には、自分たちが中心となる「生徒役員選挙」がありますが、今回の合唱の取組を通して身に着けた力を発揮してほしい。

76回生は、中学校生活初めての2大行事を経て学んだことを、今後の学級・学年での活動に活かし、充実した中学校生活を送れるようにしていかなければと思っています。

そのことで、大蔵中学校が、生徒全員が「誇りを持てる学校」にさらに高まっていけるとと思っています。

いずれにしても、保護者の皆様におかれましては、人数制限や健康観察等にご協力頂きありがとうございました。引き続き、本校教育へご理解頂き、学校・家庭が一体となって、より素晴らしい教育環境がお子様に提供できるよう努めてまいります。



美術部・カルチャー部・のぞみ学級・教科の展示も充実

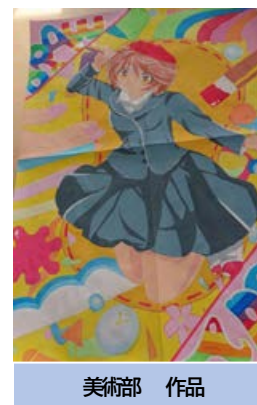
展示については、例年と同じ形で実施いたしました。特に、部活動での力品に加えて、のぞみ学級の普段の成果や教科の作品もクオリティーが高いものが多かったと感じました。また、今回は、美術科教員の特別展示もしましただご覧頂きましたでしょうか。もし、ご覧になっていなければインターネットで是非「**葛本 大樹**」で検索してみてください。のぞみ学級の作品の一部は、引き続き職員室前に展示しています。



カルチャー部 作品



のぞみ学級 作品



美術部 作品



美術科教員(葛本・徳岡) 作品

※葛本先生の作品ですが
何で作れているのか？
世界で他にない作品です！

